

654 I have a bad habit of checking social media before going to sleep.

habit「(個人的な)習慣」

habit of doing「～する習慣[癖]」→× habit to do は誤り。

go to sleep「寝る」—「眠りにつく」こと。実際に眠りに入る。

go to bed「寝る」—「ベッドや布団に入る」こと。眠りに入るとは限らない。

habitとcustomの違い

habit

- 個人の「癖・習慣」
- その人が繰り返してやってしまう行動(良い癖／悪い癖の両方)
- 例:habit of checking social media(SNSを見る癖)

custom

- 社会・集団の「慣習・しきたり」
- ある地域・文化・業界などで、みんながそうする決まりごとに近い
- 例:custom of shaking hands(握手する慣習)

655 The custom of shaking hands is a form of greeting in the business world.

custom「(社会的)習慣」

custom of doing「～する習慣[習慣]」→× custom to do は誤り。

○ shake hands「握手する」—複数形の hands になることに注意。

habit / custom が不定詞を取らない理由

「習慣・慣習」は、すでに何度も行われてきた反復行為だから。

- 不定詞 to do → これからする・まだ実現していない行為(未来・未然)
- 動名詞 doing → すでに繰り返されている行為(反復・継続)

656 I made an appointment to see my teacher after class today.

appointment「(面会などの)約束、(診療などの)予約」

make an appointment「面会の約束をする、予約する」

- promise:人の行動・意志を縛る約束(守る／破るが問題・信頼の問題)
- appointment:人と会うための日時を固定する約束(面会・診察など人が必須)
- reservation:席・場所・サービスを確保する予約(人ではなく「枠」を押さえる)

657 I'd like to make a reservation for four people at noon on Sunday.

- reservation「(飛行機・ホテル・レストランなどの)予約」= booking
 make a reservation「予約する」

658 The trees along the street provide shade on hot summer days.

- shade「日陰」—数えられない名詞
 shadow「影」—数えられる名詞

shadow と shade の違い

- shadow: 物体が光をさえぎってできる影 / 形がはっきり対応する / 物体と一緒に移動する
- shade: 日差しを防いでできる日陰 / 涼しさ・覆いが目的 / 場所として存在し移動しない

659 He is a regular customer at this restaurant.

▷ 659~661 は「客」を表す名詞。使い分けに注意。→ File76

- customer「(店・レストランの)客、顧客」
 regular customer「常連客」

660 The museum attracts about 2 million visitors a year.

- visitor「訪問客、来客、見舞客」
 attract「(人・生物などを)引き寄せる、(投資などを)誘致する」

661 Five passengers were injured in the crash.

- passenger「乗客」
 be[get]injured in A「A だけがををする」
 crash ①動詞「衝突する、墜落する」②名詞「衝突事故」

File76 「客」の使い分け

- guest「招待客、宿泊客」 customer「(店・レストランの)客、顧客」
 shopper「買い物客」 buyer「買い手」 consumer「消費者」
 client「(弁護士・広告代理店などへの)依頼人」 visitor「訪問客、来客、見舞客」
 tourist「観光客」 passenger「乗客」 audience「(演劇などの)観客、聴衆」
 spectator「(スポーツなどの)観客」 crowd「(集合体としての)群衆、聴衆、群衆」

- guest: host に招かれた人(もてなされる側)
- customer: custom(慣習) → 店を繰り返し利用する人(顧客)
- shopper: shop → 買い物という行動の最中の人

- consumer:consume → 経済的に消費する立場の人
- client:依頼・保護を求める → 専門家への依頼人
- visitor:visit → 場所を訪れる人
- tourist:tour → 観光目的で周遊する人
- passenger:pass(通過・移動) → 乗り物で移動中の人
- audience:audio(聞く) → 聞くことが本質の聴衆
- spectator:spect(見る) → 見ることが本質の観戦者

File77 「費用」「料金」「給料」の使い分け

- cost「費用」 expense「出費」 rent「家賃」
- charge(サービスに対する)料金 fare「運賃」 toll「通行料」
- admission「入場料」 commission「手数料」 tuition「授業料、学費」
- fee(専門職に対する)報酬、(入会金などの)料金 pay(一般的な)報酬
- salary「給料」 wage「賃金」 income / means「収入」

- cost:constare(犠牲を払って成り立つ) → 何かを失って成立する費用
- expense:expend(使い果たす) → 実際に外へ出ていった出費
- rent:rendere(返す) → 使用の見返りとして返す金
- charge:carricare(荷を積んで向かう) → 向こうから来て請求される料金
- fare:far(行く・遠くへ) → 移動すること自体への支払い
- toll:tol(取り立て) → 通行のたびに徴収される料金
- admission:admit(中に入れる) → 入場を許すこと / 入場料
- commission:commit(任せる) → 任された仕事への報酬・手数料
- tuition:tueri(見守る・導く) → 教育・指導への対価
- fee:feoh(財産) → 専門的行為・資格への公式な料金
- pay:pacare(満足させる) → 労働の見返りとして与える報酬
- salary:sal(塩) → 定期的・固定的に支給される給料
- wage:wad(誓約・担保) → 働いた分に応じて支払われる賃金
- income:in + come(中に入ってくる) → 流れ込む収入
- means:mean(手段) → 生活を成り立たせる資力・収入

662 The cost of living in New York is very high.

▷ 662～666 は「費用」「料金」「給料」を表す名詞。使い分けに注意。→ File77

cost「費用」

the cost of living「生活費」= living expenses

663 Rents in Tokyo are very high.

□ rent「家賃」

※ price, cost, rent, income などは「価格」の意味を含んでいるので、「高い／安い」は high/low を使うのが普通。

664 How much is the round-trip fare to Chicago?

□ fare「運賃」— fair「公正な」と同じ発音。

○(アメリカで)round-trip fare /(イギリスで)return fare「往復運賃」

665 Legal fees can be very high.

□ fee ①「(専門職に対する)報酬」②「(入会金などの)料金」

○ legal fees「弁護士費用」— legal「法的の、弁護士の」

666 The average annual income of Japanese people is not that high.

□ income「収入」⇔ expenditure「支出」

※ この文の that は副詞で「そんなに、それほど」の意味。否定文・疑問文で使う。

○ average annual income「平均年収」— annual「1年間の、年に1回の」

667 There is a lot of work to do right now because of the labor shortage.

▷ 667～671 は「仕事」を表す名詞。使い分けに注意。→ File78

□ work「仕事」

※ 「仕事、勉強」を意味する work は数えられない名詞。a/an は付かず、複数形にもならない。→ much ～は主に疑問文や否定文で使う。△ There is much work …

work と job

- work は「働くという行為・労働そのもの」を表す語で、不可算名詞として使われる。量・努力・内容に焦点があり、「仕事が多い／少ない」「一生を通じた働き」といった生涯的・抽象的な仕事を指す。
- job は「収入を得るための具体的な職・ポジション」を表し、可算名詞である。「仕事を探す」「仕事を辞める」「仕事の一つある」など、期間限定で変わり得る個別の職を指す。

668-1 My brother is looking for a job.

□ job ①「(収入を稼ぐための)職、職業」②「個々の)仕事」→668-2

※ 数えられる名詞。この文の job は「(収入を稼ぐための)職、職業」の意味。

668-2 I help my parents with various jobs around the house on weekends.

※ この文の job は「(個々の)仕事」の意味。various の後ろは可算名詞の複数形。

○ on (the) weekend(s) / at (the) weekend(s)「週末は」

File78 「仕事」の使い分け

(数えられる名詞)

- job「(個々の)仕事、(収入を稼ぐための)職」 task「(課された)仕事」
- assignment「(割り当てられた)仕事、課題」 career「経歴、(生涯の)仕事」
- profession「専門職」 occupation「職業」 business「事業、商売、仕事、会社」

(数えられない名詞)

- work「仕事」※「作品、労作」を意味する work は数えられる名詞 labor「労働」

- job: ★★★★★ | 日常会話 | (個々の)仕事／収入を得るための職
- work(不可算): ★★★★★ | 日常～学術 | 仕事・労働そのもの(行為・量)
※「作品・労作」の意味では可算
- task: ★★★★★☆ | 指示・業務 | 課された一つ一つの作業
- assignment: ★★★★★☆ | 学校・職場 | 割り当てられた仕事・課題
- business: ★★★★★☆ | 経済・実務 | 事業・商売／(総称的に)仕事・会社
- career: ★★★★★☆ | 進路・人生 | 経歴／生涯を通じた仕事
- profession: ★★★★★☆ | 公的・説明文 | 専門的訓練・資格を要する職
- occupation: ★★★★★☆ | 書き言葉・公的 | 職業区分・従事分野
- labor(不可算): ★★★★★☆ | 社会・経済 | 労働(肉体的・社会的側面)
- calling: ★★☆☆☆☆ | 価値観・人生論 | 内面から「呼ばれる」天職・使命
- vocation: ★☆☆☆☆ | 宗教的・思想的 | 声(voice)に呼ばれた使命としての職業

669-1 All assignments are due on August 25.

- assignment「課題、宿題、(割り当てられた)仕事」

※ 数えられる名詞として使うことが多い。

○ be due「期限である」— be due to do「～することになっている」

669-2 His first assignment was to write a short article about microplastics.

※ この問題の assignment は「割り当てられた仕事」の意味。⇔ 669-1

- article「記事」
- microplastics「マイクロプラスチック」

670 Robots could help ease Japan's labor shortage.

labor「労働」

※ 数えられない名詞。

labor shortage「労働力不足」一名詞 labor が形容詞的に使われている。

city life「都会の生活」、traffic accident「交通事故」なども〈名詞＋名詞〉で使う例。

help (to) do「～する助けとなる」— to は省略されることも多い。

ease ①名詞「気楽さ、やすらぎ」②動詞「～を和らげる(= relieve)」

671 Please state your name, age, and occupation.

occupation「職業」

state one's name「氏名を述べる」— state「～を述べる」

672 The library needs more copies of that popular book.

▷ 672～683 は意外な意味を持つ名詞。→ File79 - p277

copy「(本・雑誌・新聞などの)部、冊」

※「写し、複写」以外に「部、冊」の意味がある。

- many books: 本の種類・作品数が多い(タイトルの多さに焦点)
- many copies of books: 同じ本の部数・冊数が多い(在庫・配布数に焦点)

673 Put your valuables in the safe.

safe「金庫」— 形容詞では「安全な」の意味。

valuables 名詞「貴重品」— valuable 形容詞「貴重な」

674 “Where is the station?” “Sorry, I'm a stranger here myself.”

stranger ①「(場所に)不案内な人」②「見知らぬ人」

myself「他ならぬ私自身」— 代名詞の強調用法

675 “Can we change the subject?” “Sure.”

subject「話題、主題」= topic = theme

※「学科、科目」以外に「話題、主題」の意味がある。

change the subject「話題を変える」

676 If that is the case, you should talk to your manager.

S is the case「S は事実だ」

※ case は the が付いた形で「事実、実情、真相(= facts)」を意味することがある。

that's not the case「事実はそのではない」

manager「部長、店長、(スポーツなどの)監督」

677 If you litter here, you'll have to pay a fine.

pay a fine「罰金を払う」

※ fine は名詞で「罰金」の意味。

678 You can find hidden meanings by reading between the lines.

read between the lines「行間を読む、言外の意味を読み取る」

※ line には「線」以外に「行」の意味がある。この表現では line は複数形にする。

多義語 line

- line(線):一直線の形 → すべての意味の出発点
- line(列・行):文字や人が線状に並ぶ → 形の拡張
- line(境界・限界):ここまでという線 → 抽象化(線で区切る)
- line(電話回線):情報が通る線 → 機能の比喻
- line(路線):人や物が移動する道筋 → 線=通路
- line(家系):血がつながる一本の流れ → 線=継続
- line(方針・態度):考えの筋道 → 思考の線
- line(職種・業界):仕事の道筋・分野 → 人生や職業の進む線
- line(台詞):話の流れの一部 → 言葉の線

line は「一本につながった形・流れ・道筋」というイメージが抽象化され、「形 → 配列 → 流れ → 分野 → 思考」へと意味が広がった多義語。line of work(仕事の分野)も、「その人が進んでいる一本の道」という発想から自然に生まれている。

679 “What line of work are you in?” “I’m in IT.”

line of work「職種」

※ この場合の line は「職業」を意味し、単数形で使う。

680 Ken is a man of his word.

□ a man[woman, person] of one's word「約束を守る人」

※ word は「約束」の意。女性は woman を使い、person は男女に関係なく使う。

+ keep one's word[promise(s)]「約束を守る」⇒ 1242

+ break one's word[promise(s)]「約束を破る」⇒ 1243

681 My cousin has a good command of English.

□ have a good command of A「A(=言語など)を自在に使いこなす」

※ この場合の command は「(言語など)を操る能力」を意味する。

682-1 Social media can be an effective means of communication.

□ means ①「手段(= way)」②「資産、収入」一単数形も複数形も means。

○ an effective means[way]of A「A の効果的な手段[方法]」

※ mean は動詞で「～を意味する」。形容詞で「意地の悪い」を意味する。

mean / mean / means / meaning の違い

- mean(動詞):「～を意味する・意図する」
→ 言葉・行為・記号が何を指しているのかを示す
(例:This word means “hope.”=この語は「希望」を意味する)
- mean(形容詞):「意地の悪い・不親切な」
→ 人の態度・性格が冷たく、思いやりがない
(例:He is mean to others.=彼は人に意地悪だ)
※ 別義で「平均の」という意味もあるが、これは統計的用法
- means(名詞・単複同形):「手段・方法」/「収入・資力」
→ 目的に到達するための道具・支え
(例:a means of transportation=交通手段)
(例:live within one's means=収入の範囲で生活する)
- meaning(名詞):「意味・意義・中身」
→ 言葉・行為・人生などが持つ内容・価値
(例:the meaning of life=人生の意味)

682-2 We have to live within our means.

○ means は「収入(= income)」の意味。⇔ 682-1

○ live within one's means[income]「収入の範囲内で生活する」

683 There is room for improvement in my time management skills.

□ There is room for A「A の余地がある」

※ この場合の room は数えられない名詞で「余地、空間」を意味する。

+ make room for A「A のために場所を空ける、A に席を譲る」→ Grasp32 - p393

+ take up too much room「場所を取りすぎる、とても場所を取る」

File79 意外な意味を持つその他の名詞

□ diet「食事」 □ court「法廷、裁判所」 □ sentence「判決」 □ race「人種」
□ nature「性質」 □ culture「培養」 □ nerve「厚かましき」 □ the rest「残り」
□ the image「(スベらない人)」 □ goods「商品」 □ work「作品」 □ degree
「学位」□ dish「料理」 □ end「目的」 □ study「書齋」□ a shame「残念なこと」
□ party「一行、友党」 □ sense「意味、分別」 □ interest「利子(回)、利益」□
spring「泉(口)、はね」 □ change「小銭(口)、つり銭(口)」 □ company「一緒
にいること(口)、仲間(口)」

File80 単数形と複数形で意味が異なるその他の名詞

□ air「空気」/ airs「気取った態度」 □ content「満足」/ contents「内容」
□ custom「慣習」/ customs「税関」 □ force「力、軍事力」/ forces「軍隊」
□ glass「ガラス」/ glasses「眼鏡」 □ good「善」/ goods「商品」
□ letter「文字、手紙」/ letters「文学」 □ manner「態度」/ manners「礼儀作法」
Words to Use pains / spirits / regards / change

684 The two countries have agreed to lay down their arms and begin peace talks.

▷ 684～688 は単数形と複数形で意味が異なる名詞。⇔ File80

- arms「武器、兵器」= weapons
- arm(腕)/ arms(武器、兵器)
- agree to do「～することに同意する」= consent to do
- lay down A / lay A down「A(武器など)を捨てる、A を下に置く」
- peace talks / peace negotiations「和平交渉」

単数形と複数形で意味が異なる語

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● air:空気 → airs:気取った態度● custom:慣習 → customs:税関● force:力・影響力 → forces:軍隊● good:善・利益 → goods:商品● glass:ガラス・コップ → glasses:眼鏡● letter:文字・手紙 → letters:文学● manner:態度・やり方 → manners:礼儀作法 |
|--|

- pain: 苦痛 → pains: 骨折り・努力
- spirit: 精神 → spirits: 気分・機嫌 / 蒸留酒
- regard: 尊重・配慮 → regards: よろしくという挨拶
- content: 満足 → contents: 内容
- work: 仕事(不可算) / 作品 → works: 作品集・工場
- arm: 腕 → arms: 武器
- ground: 地面 → grounds: 敷地・理由
- paper: 紙 → papers: 書類・新聞
- iron: 鉄 → irons: アイロン・手錠
- scale: 規模・尺度 → scales: 天秤 / うろこ
- experience(不可算): 経験(抽象的・総体) → experiences(可算): 体験・出来事(一回分)
- room(不可算): 余地・空間 → rooms(可算): 部屋(区切られた空間)
- time(不可算): 時間 → times(可算): 回・機会
- light(不可算): 光 → lights(可算): 明かり・灯り
- language(不可算): 言語能力・言語一般 → languages(可算): 個別の言語
- hair(不可算): 髪の毛(全体) → hairs(可算): 1本の毛
- damage(不可算): 被害(総量) → damages(可算・まれ): 特定の損害(法律文脈)

685 Ken took pains to plan a surprise party for Sara.

□ take pains (to do)「(～するのに)骨を折る、苦勞する」

▶ pain(苦痛) / pains(苦勞)

686 The team won the game and left the field in high spirits.

□ in high spirits「上機嫌で」= in good spirits = cheerful

▶ spirit(精神) / spirits(気分、機嫌)。「ハイテンション」は和製英語。

⇔ in low spirits「気分が沈んで、意気消沈して」= depressed

feeling / emotion / mood / spirits の違い(横並び・丁寧解説)

- feeling: 感情・感覚(主観的に感じているもの全般)
→ 心でも体でも「感じている状態」を広く指す
a strange feeling「奇妙な感じ」 / hurt feelings「傷ついた感情」
- emotion: 感情(喜び・怒り・恐れなどの強く明確な感情反応)
→ 心理学的・やや硬い語。外から原因があって湧き上がる
control one's emotions「感情を抑える」

- mood:気分(しばらく続く感情の調子)
→ 特定の原因がはっきりしないことも多く、一時的な雰囲気
be in a good mood「機嫌がいい」
- spirits(複数形):気分・元気・活気(精神状態の高低)
→ 特に「元気がある／ない」を表す
be in high spirits「上機嫌だ」/low spirits「落ち込んでいる」

687 Naomi is on friendly terms with the library staff because she loves reading.

be on friendly terms with A「A と親しい間柄だ」
= be on good terms with A

▶ term(用語、学期)/ terms(間柄)

term(多義語)―語源「区切る」

- term(期限・期間):一定の区切られた時間 → 学期・任期・契約期間
- term(条件):合意内容を区切って定めたもの → 条件・条項
- term(言葉・用語):意味の範囲を区切って名付けた語 → 専門用語
- term(関係・呼び方):立場を区切って表す呼称 → on good terms
- term(終点・限界):そこまでという区切り → in the long term
- term(医学・法学の用語):概念を明確に区切った定義語 → technical term

- term ← ラテン terminus(境界・終点)＝「ここまで」と線を引いて区切る発想。
- 時間を区切る → 学期・任期(school term / term of office)
- 内容を区切る → 条件・条項(terms of a contract)
- 意味を区切る → 用語(technical term)
- 関係を区切る → 関係性のあり方(on good terms)

688 Please give my regards to your family.

give one's regards to A「A によろしく伝える」

give A one's regards

▶ regard(記憶、尊敬)/ regards(よろしくというあいさつ)

○ say hello to A(①「A にあいさつする(= greet A)」②「A によろしく伝える」)

689 I change trains at Shibuya Station every morning.

▶ 689～693 は常に複数形を使う表現(相互複数)。⇔ File81

change trains「電車を乗り換える」

※ 乗ってきた電車と乗り換える電車があるので複数形の trains になる。

690 Changing schools can be stressful for children.

change schools「転校する」

※ 転校前の学校と転校後の学校があるので複数形の schools になる。

File81 常に複数形を使うその他の表現(相互複数)

change seats「席を替える」

change one's shirts「シャツを替える」

change planes「飛行機を乗り換える」

exchange ideas「意見交換をする」

691 Two men are shaking hands.

shake hands (with A)「(A と)握手する」

※ 握手するには相手と自分の手が必要なので複数形の hands になる。

692 I want to make friends with people from different countries.

make friends (with A)「(A と)友達になる」

※ 友達になるには相手と自分が必要なので複数形の friends になる。

○ people from different countries「さまざまな国の人たち」

693 At the party, we took turns telling funny stories.

take turns (in) doing「交代で～する、順番に～する」

※ turn は「順番」を表す。複数の人がいて交代するので turns になる。

○ by turns「代わる代わる」

694 She gave me a piece of advice.

▷ 日本語では「数えられる事柄」でも英語では数えられない名詞(不可算名詞)となる語がある。694～704 などの名詞は a/an が付かず、複数形になることもない。数える必要があるときは a piece of(1つの)などを付けて数える。「多い／い／くらか／少ない／ほとんどない」は、量を表す a lot of[much]/ some / a little / little などを使う。→ File82 - p282 数えられる名詞なので × many / a few / few などは使えない。

advice「助言、忠告」—動詞形は advise「～に…を助言する」

※ 数えられない名詞。数えるときは a piece of などをつけて数える。

695 Could you give me some information about nearby restaurants?

information「情報」

※ 数えられない名詞。複数形にしないこと。× some informations

■ some は肯定文で、any は疑問文・否定文・条件文で使うが、相手に「肯定の答え」を期待する場合は、疑問文でも some を使う。

○ nearby ①形容詞「近くの～」②副詞「近くで」

696 The police found evidence at the crime scene.

evidence「証拠」

※ 数えられない名詞。a/an は不要。× found an evidence

○ the crime scene「犯行現場」

697 How much homework do you have for summer vacation?

homework「宿題」

※ 数えられない名詞。「多さ」を尋ねるときは much を使う。

× How many homeworks … は誤り。

698 The man is carrying a lot of baggage.

baggage「手荷物」

luggage

※ 数えられない名詞。複数形にしないこと。× a lot of baggages

much ～は主に疑問文や否定文で使われる。△ much baggage

File82 a piece of や a lot of などが付く不可算名詞

advice「助言、忠告」 information「情報」 evidence「証拠」

homework「宿題」 baggage = luggage「手荷物」 furniture「家具」

equipment「設備」 machinery「機械類」 news /nju:z/「知らせ、ニュース」
 poetry「詩」 housework「家事」 mail「郵便物」

699 We need to buy a piece of furniture for our living room.

furniture「家具」

※ 数えられない名詞。数えるときは a piece ofなどを付けて数える。

a piece of で数える不可算名詞

a piece of は「中身を一単位として切り出せる不可算名詞」に使う。状態・度合いを表す不可算名詞には使えない。

advice:助言・忠告 → 情報内容を一単位として切り出す
 information:情報 → 内容のまとまりを一つとして扱う
 news:知らせ・ニュース → 一件の情報として区切る
 evidence:証拠 → 証拠の一項目を示す
 furniture:家具 → 家具の一つ一つの品
 equipment:設備・備品 → 設備の一要素
 machinery:機械類 → 機械の一部・一機
 baggage / luggage:手荷物 → 荷物の一つ
 mail:郵便物 → 郵便物の一通・一件
 poetry:詩 → 詩作品の一編
 music:音楽 → 一曲・一作品として
 paper(論文):論文 → 一本の研究論文
 work(作品):作品 → 一つの労作
 art:芸術 → 一点の作品
 software:ソフトウェア → 一本のプログラム
 homework:宿題 → 宿題の一課題
 housework:家事 → 家事の一作業

使えない代表例(注意)

fun / progress / damage / harm

→ 量(a lot of / little)は言えるが、a piece of は不可

700 There is a lot of equipment in the gym.

equipment「備品、設備」

※ 数えられない名詞。複数形にしないこと。× are a lot of equipments
 much ~は主に疑問文や否定文で使われる。△ is much equipment

gym「体育館、ジム」— gymnasium の略

701 It takes a lot of machinery to build a skyscraper.

machinery「機械類」

※ 数えられない名詞。複数形にしないこと。× a lot of machineries

machine「(個々の)機械」

It takes A to do「~するのに A が必要だ」

skyscraper「高層ビル」—「空(sky)をこするもの(scraper)」

702 How was your vacation? Did you have fun?

▷ 702~704 などの不可算名詞は、「多い／いづらか／少ない／ほとんどない」を a lot of[much]/ some / a little / little などを使って表すが、a piece of(1つの)などを付けて数えることはない。→ File83

□ fun「楽しみ」

□ have fun「楽しむ」= have a good time = enjoy oneself

※ 数えられない名詞。a/an は不要。× have a fun

fun(名詞)が不可算名詞な理由

fun(名詞):楽しみ・楽しさ(不可算名詞)
理由:体験から生じる「状態・感情」を表し、個数で切れない
have fun:楽しむ(状態を経験する)
= have a good time(time は可算なので a が必要)
= enjoy oneself(動詞+再帰代名詞)

量の表し方(不可算名詞):
a lot of fun / some fun / a little fun / little fun / much fun(疑問・否定)→ 個数表現は不可(× a fun / × two funs / × a piece of fun)

703 Little progress has been made on global warming.

□ progress「進歩」

※ 数えられない名詞。複数形にしない。make progress「進歩する」の受動態。「ほとんどない」は little を付ける。× Few progresses have … は誤り。

704 The heavy rain caused a lot of damage to our city.

□ damage「損害、被害」—発音は /dæmɪdʒ/ = harm

※ 数えられない名詞。複数形にしないこと。× a lot of damages

much ~は主に疑問文や否定文で使われる。△ much damage

○ cause damage to A / do damage to A「A に被害をもたらす」

File83 a lot of などは付くが a piece of は付かない不可算名詞

□ fun「楽しみ」— have a lot of fun「大いに楽しむ」

□ progress「進歩」

□ damage「損害、被害」

□ harm「害」

progress / advance / development / evolution の違い

progress(不可算):進歩・前進という連続的な過程・度合い
→ 進んでいるかどうか、その量や程度に焦点…(little / much progress)

advance(可算):前進・進歩の一つ一つの成果・段階

→ 進歩を区切って数える…a major advance / technological advances

development(可算・不可算):発展・発達・展開

→ 成長の流れ全体にも、具体的な新展開にも使える… economic development / a new development

evolution(不可算が基本):進化・発展

→ 長い時間をかけた自然的・必然的な変化 人為的でなく、段階的に形が変わっていくイメージ…the evolution of language / human evolution